



市民参加のワークショップ



石だたみを彩る路上投影

プロフィール

あきもと けんいち
秋元 健一 (40歳) 東京都より移住

門前通りに賑わいを

私が参画している笠間稲荷門前通りの活性化活動「かさまち考」で、昨秋からまた新しい取り組みが始まっています。市民参加のワークショップでの意見をもとに、できるものから実践していくスタンスで、門前通りに賑わいを生み出す活動を実施しています。ミーティングも今年度だけで20回以上重ね、私も商店街の方々と一緒に議論や企画に携わる機会が多くなってきました。

昨年11月の菊あかりイベントに合わせ、映画上映会を中心にした映像イベントを実施したのもそのひとつです。私もメンバーの皆さんと協力し、映画上映会と門前通りの石だたみを映像で彩る企画のプロデュースを行いました。映画上映会は寒い中130人以上の方々に来ていただき、大成功。その後も、門前通りを舞台とした写真コンテストや、笠間朱色を使った商品開発などに取り組んでいます。

これからも、かさまち考メンバーとして門前通りの活性化につながる企画を打ち出し、関係する皆さんと一緒に汗をかく活動を続けていきたいと思っています。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも
ご覧ください

ブログ ▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】まちづくり推進課 (内線 538)

笠間市国際交流員 IAN's View Vol. 7

ジェスチャーの違いに困惑?

招き猫は、古くから商売繁盛の縁起物として日本の店先によく置かれています。ハワイでも招き猫を置いている店が多く、英語では“lucky cat”と呼ばれ、なじみのある存在です。しかし、幸運や商売繁盛の目的以外に「おいでおいで」とお客さんに呼びかける意味があるということは知りませんでした。

日本の「おいでおいで」のジェスチャーはアメリカの「あっちいけ、バイバイ」のジェスチャーに似ています。私も来日してから「おいでおいで」と手招きをされ、「あっちいけ、バイバイ」の合図だと受け取ってしまったことがあります。相手が話したかったのに、振り向いて帰ろうとしてしまい、その時に呼びとめられたことで、そのジェスチャーは「おいで」という意味だと知りました。

逆に、アメリカやイギリスでは「こっちに来て」か「カモン！」のジェスチャーは、手の平を上にして「おいでおいで」とやります。

私は、日本とアメリカのジェスチャーの違いが面白いと思いましたし、勉強になりました。こういったジェスチャーは英会話にも良く使われているので、皆さんも知っておくと便利です！



日本
「おいでおいで」



アメリカ
「カモン！」



【問い合わせ】市民活動課 (内線133)